

児童発達支援事業所における  
自己評価結果

令和2年度

事業所名 こども発達サポートせいの

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令遵守した安全に活動できるスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされる配置数を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			視覚支援でイラスト表示をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			月1回の業務改善について話し合う機会を設定しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今後保護者の意見を取り入れ検討業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後必要に応じて実施を検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月1回の事業所内研修を設け、外部の研修にも参加します。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントは、すぐに生かせるように個人別ファイルしています。	契約時にアセスメントシートをもとに計画を作成し計画期限ごとにニーズや課題の把握に努めて作成しています。問題点が生じた際その時点で保護者と連携し作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		集団活動のプログラムは、職員全員が週替わりで担当、立案し固定化しないように行っています。	ガイドライン・計画に沿った支援を主担当が立案毎回ミーティングで意見交換して立てています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		常に子どもの状況を把握し全職員が共有しています。	個々の状況に合わせてそれぞれの課題がクリアしやすいように個別・集団活動を組み合わせています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングで意見交換共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			ノートへの報告を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌にて記録支援改善に努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングを行い見直しをしています。コロナのため対面できない場合は、電話・手紙で行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			子育て支援等連携し支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医療ケアが必要な利用児童がいないが必要に応じて連絡できる体制を整えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			利用時の状況など提供したいと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			話し合いや連絡調整を行い情報共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		事業所交流会等にて助言・研修をうけています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流できる機会を作っていければと考えて利用児童の保護者を通じて情報共有を行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡ノート・電話・モニタリングにて発達状況や課題等を共通理解できるように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後必要に応じて実施を検討します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			契約・モニタリング時に説明理解・同意が得られるように努めています。 必要に応じて助言支援を行います。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会等を開催できるように検討していきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			対応体制を整え迅速に対応できるように努めています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			お手紙・ホームページ等で発信します。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			契約時に同意書をいただき会議等で使用する場合確認をいただくようにしています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			意思疎通方法を保護者と相談しながら行いマカトン・手話なども行いながら配慮しています。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後地域との交流がもてるようにしていきたいと考えています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			周知できるようにマニュアルを提示します。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年1回定期的に訓練を行なっています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約・モニタリング時に服薬等・アレルギーの有無の確認を行い対応しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			指示書に従い手作り等の対応をしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			共有し改善に努めます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待を防止する研修の機会を設けています
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			児童・職員の安全のため身体拘束を必要とする場合保護者の同意・了承を得て計画にも記載しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

事業所名 こども発達サポートせーの

保護者等数(児童数)3回収数 3割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3					法令遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	2			1		法令で必要とされる配置数に専門的担当を決めて配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2			1		安全で過ごしやすい生活空間の提供を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2			1		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3					ガイドライン・計画に沿った支援を主担当が立案毎回ミーティングで意見交換して立てています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3				毎週、色々なゲームや遊びができて楽しんでいるようです。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1		2		
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3					契約・モニタリング時に説明理解・同意が得られるように努めています。必要に応じて助言支援を行います。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている			1	2		今後必要に応じて実施を検討します。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3				いつも様子を詳しく教えて頂け助かります。	連絡ノート・電話・モニタリングにて発達状況や課題等を共通理解できるように努めています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			3			保護者会等を開催できるように検討していきます。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3					対応体制を整え迅速に対応できるように努めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3				連絡ノートで本人の様子を教えていただけるので安心できます。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている		1		2		お手紙・ホームページ等で発信します。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	3				使用時の確認の電話があります。	契約時に同意書をいただき会議等で使用する場合確認いただくようにしています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3					周知できるようにマニュアル提示します。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている				3	訓練の様子や実施がよくわかりません。	定期的に訓練を行います。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	3				とても楽しみにしています。	常に楽しんで満足いただけるよう全職員で考えて支援します。
	23 事業所の支援に満足している	3				経過報告もあるので満足です。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和2年度

事業所名 こども発達サポートせいの

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテーション等を使い集中できる環境作りをしています。	安全に活動できるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされる配置数に専門的担当を決めて配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			入口の段差解消を具体策検討中です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングで意見交換しています。	月1回の職員会議で業務改善について話し合う機会を設定しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の意見を取り入れ検討業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後必要に応じて実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月1回の事業所内研修を設け外部の研修にも参加します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		コロナのため対面が難しい時は、電話、手紙により情報を保護者と共有できるようにしています。	契約時にアセスメントシートをもとに計画を作成し計画期限ごとにニーズや課題の把握に努めて作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		専門性を重視して担当を決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		集団活動は、週変わりで全職員が立案し担当します。	主担当が立案、日々の子どもの様子 considering して月1回の会議で全職員で改善して立てています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動が苦手でも状況に配慮して1部でも参加など取り組めるように計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			ミーティングを行い役割分担の確認をおこなっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌にて記録支援改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		コロナのため対面が難しい時は電話、手紙により情報を保護者と共有できるようにしています。	定期的にモニタリングを行い見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			自立支援・創作活動等組み合わせ合わせて支援しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を通じて情報共有、連絡調整しています。 コロナの影響もあり、直接対面できない時は、電話での情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在は医療ケアの必要な利用児童がいないが必要に応じて連絡できる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報提供と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	利用時の様子や状況、課題の到達事項など提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所交流会等で助言・研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	交流できる機会を作っていければと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎・連絡ノート・電話・訪問など保護者と共通理解できるように環境を整えています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	今後必要に応じて検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い理解を得られるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時や、連絡ノート・電話での相談に応じ必要な助言・支援が行えるように努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等を開催できるように検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		常にご意見を頂ける体制を取り、迅速・適切な対応をし運営に反映させていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お手紙・ホームページ等で発信します。
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に同意書をいただき会議等で使用する場合確認をいただくようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通方法を保護者と相談しながら行いマカトン・手話なども行いながら配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後地域との交流がもてるようにしていきたいと考えています。



非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		周知できるようにマニュアルを提示します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待を防止する研修の機会を設けます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			児童・職員の安全のため身体拘束を必要とする場合保護者の同意・了承を得て計画にも記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にアレルギーの有無の確認を行い対応をしています。手作りおやつなどは、必要に応じて成分表など渡せるように準備し事故が起こらないように努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			共有し改善に努めています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の  
集計結果(公表)

令和2年度

事業所名 こども発達サポートせいの 保護者等数(児童数) 40 回収数 26 割合 65 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3		2		法令遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		5	専門の職員配置で質の高い療育が良い。送迎時かモニタリング以外合う機会がわからない。	契約・モニタリング時に説明をしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	1		5		手すりの設置など行い配慮しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	1				モニタリングや送迎時・電話などでニーズを把握し作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25			1	手作りおやつ・個別セッションなど楽しめています。子どもの体調や状況に応じて参加できる工夫をしてもらえて嬉しい。	主担当が立案、日々の子どもの様子を考慮して月1回の会議で全職員で改善立っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	4	17	元々されている印象がなかったが今は、どちらにせよ難しい。	交流機会を作っていければと思っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26					契約・モニタリング時に説明し理解を得られるようにしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	1				状況・課題について連絡帳・電話により共通理解できるように努めています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	6			コロナの影響で対面でお話することが難しくなっていますが電話でお話しているので大丈夫だと思っています。	直接対面がコロナのためできない場合は、電話やお手紙で行っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8	11	6	懇親会があると嬉しい。特に必要性を感じない。	保護者会等開催できるように検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2		6		ご意見は、真摯に受け止め対応いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1				いただいた情報をもとに意思疎通できるよう努めています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3	2	6	定期的な会報があるといい。手作りのレシピが嬉しい。	お手紙・ホームページ等で発信します。パソコンをしている児童が職員と一緒に文字入力を行い活動内容のプリントとして配布しています。
14 個人情報に十分注意しているか	25			1	ケース会議での使用の場合必ず連絡があり安心しています。	契約時に同意書をいただき会議等で使用する場合確認をいただくようになっています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	5		7		各マニュアルを提示し周知に努めます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	1	13	ゴールデンウィークの利用時に訓練をもらい家族で話題となりました。行われていることを知らない。	毎年1回避難訓練を行っています。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	1	1	子の興味特性に合わせた指導で能力が伸び広がった。行くのを嫌がっても行くと楽しんで帰ってきます。	常に楽しんで満足いただけるよう全職員で考えて支援します。
	18	事業所の支援に満足しているか	25	1		他でできないグループワークが魅力的です。子どもの能力向上につながって満足です。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。